CA92276-8611-01

PRIMERGY TX100 S1 ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2009 年 8 月
富士通株式会社

1. 「PRIMERGY TX100 S1 はじめにお読みください：B7FH-6321-01」への更新事項

5. OS を開封する 「■Windows Server 2003 R2 の場合」（関連ページ 5）

追記

OS インストールタイプの開封情報で IP アドレスを指定した場合でも、IP アドレスは設定されません。インストール後、別途 IP アドレスの設定を行ってください。

2. 「ソフトウェアガイド：B7FH-6161-01」への更新事項

2 章 「2.3.2 SVIM のご使用にあたって（関連ページ 32）

訂正

誤）■フロッピーディスクの用意

SVIM を使用して OS をインストールする場合、設定した情報をコンフィグレーションファイルとしてフロッピーディスクに保存できます。保存したコンフィグレーションファイルは、「2.2.2 再インストールする場合」（→ P.27）や、「2.2.3 2 台目以降にインストールする場合」 （→ P.29）で、利用できます。 コンフィグレーションファイルをフロッピーディスクに保存する場合は、フォーマット済み のフロッピーディスクを 1 枚用意してください。

正）■フロッピーディスク／USB メモリの用意

SVIM を使用して OS をインストールする場合、設定した情報をコンフィグレーションファイルとしてフロッピーディスク、USB メモリに保存できます。保存したコンフィグレーションファイルは、 「2.2.2 再インストールする場合」（→ P.27）や、「2.2.3 2 台目以降にインストールする場合」 （→ P.29）で、利用できます。 コンフィグレーションファイルをフロッピーディスクに保存する場合は、フォーマット済み のフロッピーディスクを 1 枚用意してください。

重要

Windows Server 2008(32-bit)をインストールする場合、あらかじめ BIOS の Boot メニューにて USB メモリデバイスを外す必要があります。
変更を行わない場合、自動インストールが途中で止まってしまいます。必ず変更してください。
Windows Server 2008 をインストール後は、設定を元に戻してください。

お使いのサーバで使用可能な USB フロッピーディスクドライブ、USB メモリについては、「PRIMERGY」ページの「システム構成図」
（http://primeserver.fujitsu.com/primergy/system.html）をご覧ください。

3章　「3.3.2 リモートインストールを行うための要件（関連ページ60）
■PXEサーバ/リモートリソースサーバの要件
追記

重要

V4.80より古いバージョンのServerView Operation Manager(ServerView Consoleを含む)がインストールされたサーバをPXEサーバとして利用できません。

3章　「3.3.3 PXEサーバの準備(関連ページ69)
■TFTPの設定
訂正
誤)
1.TFTP のフォルダ（初期設定の場合 C:¥Program Files¥Fujitsu¥DeploymentService¥tftp）を選択します。

正)
1.TFTP のフォルダ（初期設定の場合 C:¥Program Files¥Fujitsu¥ServerView Suite¥DeploymentService¥tftp）を選択します。

付録「A　本体仕様」(関連ページ120）
■各型名における仕様
追記

タイプ名称	型名	標準搭載CPU	標準搭載メモリ	搭載ハードディスク（RAID構成)
WindowsSrever2008Standard（32-bit）アレイタイプ	PGT1012E3J	インテル®Pentium®プロセッサーE5200	1GB	160GB×2（RAID1)

－以上－